

発表5 放課後の居場所づくり

~地域経済活性化×学力向上~

函館西高校 チームE

発表者： 2年3組 西田 小桜 2年3組前 結栴

2年5組 高橋 舞羽



企画の動機

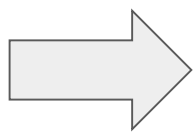
Gスクエアや図書館まで遠い...

まちセンは若い人が使える雰囲気ではない...

個人店舗で勉強していいかわからない...

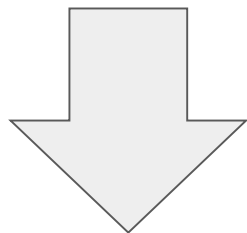
西部地区には勉強する場所がないことに気づいた。

元々は、児童館などの施設を借りて、小学生向けの勉強会や高校生同士が学び合う会を開きたい！！ と思ったけど...



他の地域や函館でもやっている居場所作りの方法を聞いてオリジナルの計画を立てたい！

現時点で、学生が勉強するとしたら、
スタバやマックなどで函館に利益がない..



西部地区のたくさんの個人経営店で勉強すれば、
勉強場所も増えて函館の経済が回る！！！！

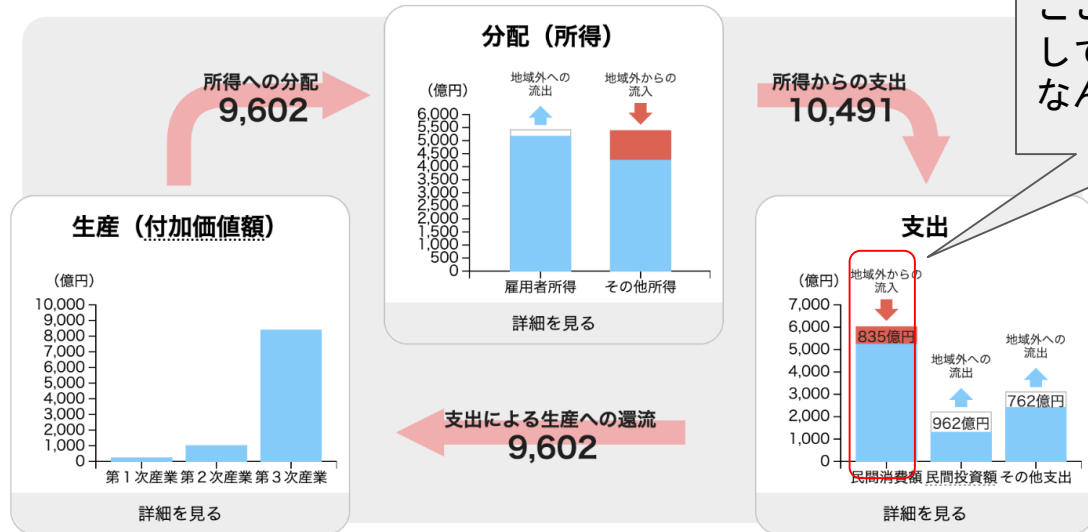
RESASの地域経済循環図

	民間消費	民間投資	その他支出
支出流入率	16.1%	-43.6%	-24.5%
支出流入率 順位	336位	1,551位	458位

地域経済循環率
91.5%

地域経済循環図 2018年

指定地域：北海道函館市



ここでお金が流出しているところをなんとかしたい！

RESASだと2018年のデータだが、コロナの時は流入が落ち込んだことが想定される

高校生が域内経済循環を意識すると、経済効果が上がる可能性がある

RESAS地域経済循環図より
<https://resas.go.jp/regioncycle/#/map/1/01202/2/2018>

企画の内容（どんな活動をしたいか）

- ・ 勉強が可能な個人経営店（やサードプレイス）をみんなに広めて、学生が行きやすい新しい放課後の居場所を作る。
- ・ 学生のほか、観光客や地域の人にもお店の存在を知ってもらうきっかけとして、マップを作り、いろいろなところに配りたい。

探究テーマ お店に行って学力向上

●自分が立てた仮説

西部地区などにはたくさんのカフェや飲食店の個人経営店がある。そこで勉強ができるお店の場所を知ることができるマップを作れば学力向上に繋がってカフェ側も利益が増えるのでは。

●自己に関する問い

- ・もっと勉強する場所がほしい。
- ・テスト期間になると図書館などが混む。

●他者に関する問い

- ・他にも場所がほしい人がいるはず。
- ・図書館で本が読みたい人が読めない。

●社会・世界に関する問い

- ・函館の個人経営店に利益
- ・あまり知られていないお店が注目される

●問題点

- ・長時間の滞在
- ・雰囲気壊すかもしれない

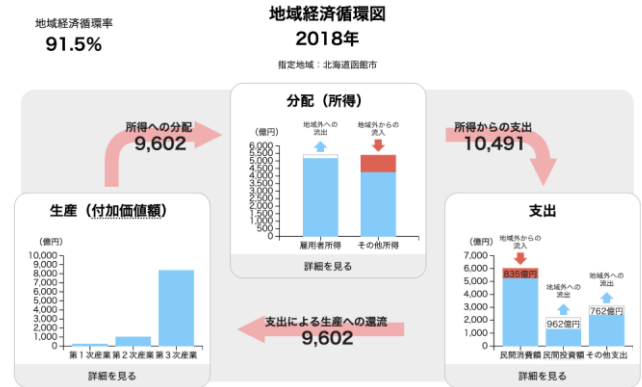
●起こすべき行動

- ・勉強してもいい飲食店を探す
- ・マップをつくる
- ・問題点の解決



企画の目的（何のために活動するのか）

- ・ 学生の勉強場所づくり、居場所づくり
- ・ たくさんの飲食店を知ってもらうため
- ・ 域内経済循環を意識した消費行動を促すため



これまでどんな活動をしてきたか

- まだ話し合いの段階です。
- 知り合いへの聞き込みをしました。

目指しているゴール

- ・ **高校生の意識を変えて函館の経済を回す**
- ・ **学生の放課後の勉強場所、居場所を増やす**
- ・ **高校生にたくさんのお店を広めて、地域の経済循環の自立度を上げる**
- ・ **校内用マップを作る**

目指グループワークで話し合ってもらいたいこと

- **お店への交渉の方法**
- **最低利用額の設定の相談**
- **お店以外の居場所の情報（使っていい場所）**
- **利用に際するルール設定**